

登録コード:MH142400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	精神看護学実習【20M～24M】 Practice in Psychiatric and Mental Health Nursing			
担当教員	下里 誠二 他 木下 愛未			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3・4年		不定期	集中・不定期
単位数、講義室	2単位		遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		精神科医療の現場において、生じている現象を分析し、リカバリーを支援するために必要な科学的根拠に基づいた判断をすすめることができる	
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		精神保健の専門職者として、精神障害者に対する態度、感性を磨き、精神科看護に必要な基本的な知識、技術を習得し、精神保健の現場で活用できる	
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		精神科医療の現場で生じている現象を分析しながら、看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を習得し、精神障害当事者との関わりを通じて様々な状況で活用できる	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		変化し続ける精神科医療および精神保健福祉から派生する多様な課題に対して、精神障害当事者の視点や、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的課題に対応していく探求心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	
	問題解決力 保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。		精神科領域における保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる	
	対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる。		精神科領域における保健・医療・福祉の現場における当事者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションを取りながら、適切な関係性について考え、その関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる	
	プロフェッショナリズム 看護専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。		精神科領域における看護専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	現代の精神医療・福祉等の精神障害者を取り巻く環境の実際を知り、心を病む人に対する看護実践に必要な基礎的能力を養います。 本授業は1年次の「精神看護学概論」、2年次の「精神看護健康論」、3年次の「精神看護方法論」の内容と相補的に学んでいくことになります。 本授業は、担当教員の精神科病院での精神科看護師としての実務経験を活かして指導を行います。			
授業計画	病棟実習 ＜事前学習＞ 1.各精神疾患の特徴と、その主な症状に対する看護 2.主な治療法 3.精神科における病棟管理 ＜実習課題＞ 1.患者のコミュニケーションの特徴を捉えて、患者と関わる 2.患者の全体像を把握する 3.日常生活および症状に対するケアの必要性をアセスメントする 4.看護計画を立案し、実施・評価する 5.入院生活上の日常生活援助を行う 6.精神医療における看護の役割を考える 7.レポートを作成し、提出する 社会復帰施設実習 1.精神障害者就労支援施設において、メンバーとともに授産活動等を体験し、地域で生活する精神障害者が抱えている問題を理解する 2.精神障害者福祉における看護の役割を考える 最終日に授業アンケートを実施する			
授業の進め方	＜病棟実習＞ 村井病院または松岡病院で行います。療養病棟、急性期病棟 ＜社会復帰施設実習＞ 就労継続支援A型事業所（STOVE松本）で1日間、就労継続支援B型事業所（北ふれあいホー			

授業の進め方	ム、南ふれあいホーム、れんげの家)のうち1施設で1日間、利用者とともに活動に参加します。 11～12月はてくてく、12月はGrandRicheで2.5～3日間の実習となる場合があります。 < 自宅課題 > 臨地実習の経過に合わせた課題がe-alpsに出されます。
テキスト，教材，参考書	参考書：随時紹介します
成績評価の方法	実習内容、提出物を総合的に評価します。配点は、実習内容20%、カンファレンス内容20%、病棟実習記録20%、レポート（就労継続支援施設）10%、学内演習課題15%、自宅課題15%です。実習内容には規定の遵守、ケアの内容が含まれます。
成績評価の基準	精神障害者の援助について与えられた課題を修了することができれば「水準にある：可」。指導内容や記録類の内容、精神障害者とのかかわりにおいて自分なりに工夫した点がみられれば「やや上にある：良」。教員や実習指導者の指導内容や、記録類の内容、精神障害者との関わりにおいて2つ以上に工夫や努力のあとがありかつ高度な内容が含まれていれば「かなり上にある：優」。教員や実習指導者の指導内容や、記録類の内容、精神障害者との関わりにおいてすべてで高度な応用ができていれば「卓越している：秀」と評価します。
事前事後学習の内容	臨地での状況に合わせ日々提示します。 本授業の単位習得には90時間の学習が必要です
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	実習に入る前に、各精神疾患の主な症状とそれに対する看護，精神科における治療法とそれに対する看護の役割，精神科における入院形態・治療環境については重点的に復習しておきましょう。 精神看護学実習の詳細は実習要項に提示しますので、実習に入る前に各自でよく読んでおいてください。 実習中は健康な状態を維持することが大切です。健康管理に十分留意して、体調を整えて実習に臨んでください。 質問への対応 下里誠二 sshimos@shinshu-u.ac.jp 木下愛未 akinoshi@shinshu-u.ac.jp 事前にご連絡のうえご相談ください 保健学科中校舎4階 下里誠二研究室